“ふるさとちば”のための政策推進を

宮川ふとし県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13　電話043(227)7411

海匝地域の新合同庁舎

7年度から着工

銚子市・香取郡東庄町選出の宮川太議員は、2月県議会の予算委員会に登壇し、令和4年度予算案を中心に、県当局の考えをただした。特に、海匝合同庁舎の再整備スケジュールや供用後のあり方、銚子沖に建設される風力発電設備、国道356号の渋滞解消、移住定住への取組など海匝地域の課題を取り上げた。その質疑と答弁をお伝えする。

2月県議会・予算委員会

2月県議会・予算委員会に登壇した宮川太議員

●庁舎再整備のスケジュール

宮川議員　地域振興事務所を中心とする各地域の出先機関の集約化は、香取地域を皮切りに、山武、夷隅、安房と続き、ようやく海匝地域にも、順番が回ってきた。

県の資料によると、銚子地区では、県税事務所支所の敷地に新庁舎を建設し、そこに海匝保健所と銚子土木事務所を集約する。旭地区では、海匝合同庁舎を旭高等技術専門学校のグラウンドに建て替える。匝瑳地区では、市役所に隣接する県有地に、地区保健センターと海匝農業事務所、海匝土木事務所を集約するものである。

令和4年度予算としては、土壌や地質の調査費や基本設計などを行うための経費が計上されており、整備期間は、銚子地区が令和10年度、旭、海匝地区は令和9年度となっている。

そこで伺うが、**来年度の着手から供用開始に至るまでの具体的なスケジュールはどのようになっているのか。**

資産経営課長　銚子、旭、匝瑳の3地区とも、・令和4年度に、基本設計や地質調査等に着手し、令和5年度から6年度にかけて実施設計を行います。・これを踏まえて、令和7年度から庁舎の建設工事に向けた手続きに着手し、令和9年度中に供用を開始する予定となっています。

●工事に伴う仮移転

宮川議員　**県税事務所銚子支所や海匝保健所は、仮移転が必要だと思うが、どのように考えているのか。**

資産経営課長　旭県税事務所銚子支所及び海匝保健所の仮移転先については、銚子市内の県有地を考えており、今後、執務室の規模や移転に向けたスケジュール等の詳細を詰めてまいります。

災害時に庁舎活用へ

●フェーズフリーの導入

宮川議員　災害発生時は、県の出先機関も、地域の一機関として、住民に役立つべきだと考える。いわゆるフェーズフリーの視点が、これからの庁舎に求められると思うが、**銚子庁舎に、フェーズフリーの考えを取り入れるべきと思うがどうか。**

資産経営課長　新たな庁舎の整備に当たっては、平常時から災害時への業務の切替えが円滑に行われるよう執務室の配置に配慮し、災害時の庁舎の活用方法等についても、地元市と協議しながら検討してまいります。

●水産と漁港の事務所は

宮川議員　銚子市内には、水産事務所と漁港事務所がある。**この二つの事務所は、今回、集約化の対象となっていないが、その整備をどのように考えているのか。**

資産経営課長　両事務所については、現在、「県有建物長寿命化計画」の第Ⅱ期として、令和9年度までに整備着手する施設に位置付けられていることから、今後、関係部局と連携して整備内容を検討してまいります。

要望　**事業期間は令和9年、10年と長い事業になるので、地元市と連携し、地元住民に丁寧な説明を心がけ、着実な事業の進捗に努めていただきたい。そして、新しい庁舎が1日も早く供用され、地域行政の中核施設として貢献するよう要望する。**

銚子沖31基の風力発電

●名洗港活用の意向

宮川議員　地球温暖化への対応を、成長の絶好の機会ととらえるべく2020年、政府は「2050年カーボンニュートラル」を宣言した。

2050年のカーボンゼロに向けたこの戦略において、洋上風力が主要産業の一つに位置付けられ、洋上風力発電は、国のエネルギー政策の一翼を担う大変重要な施策となっている。

洋上風力発電は現在、風車の大型化が進み、発電設備の設置や維持管理のためには、しっかりと整備された岸壁や大型資機材を取り扱える機能を備えた港湾施設が必要不可欠だ。

また、事業期間が20年～30年近くの長期間に及ぶことから、継続かつ安定的に港湾施設の利用が確保できることが重要な点である。

このような中、銚子市沖の海域が洋上風力発電の促進区域に指定され、発電事業者の公募が行われて、昨年12月、国により、三菱商事グループや中部電力グループからなる「千葉銚子オフショアウインド」が発電事業者に選定された。

同社の事業計画によると、発電設備出力は約39万キロワットで、高さ約250メートルに及ぶ巨大な風車31基が建設され、2028年9月に運転開始の予定となっている。

そこで伺うが、**洋上風力発電事業の導入に際し、名洗港活用について発電事業者の意向はどうか。**

港湾課長　銚子市沖促進区域の発電事業者である「千葉銚子オフショアウインド」から、風力発電の建設に関わる人員輸送やメンテナンスの拠点として名洗港を活用したいという意向が示されています。

●名洗港活用への取組

宮川議員　**発電事業者による名洗港の活用に向け、県はどう取り組んでいるのか。**

港湾課長　発電事業者による名洗港の活用に対応するため、港湾施設の規模及び配置を見直す必要があり、現在、県では年度内を目途に、地方港湾審議会の意見を伺いながら、港湾計画の改訂に取り組んでおります。

●名洗港の整備事業

宮川議員　名洗港は、漂砂による埋没が著しく、かつ港内の静穏も確保できていない状況となっている。**令和4年度の名洗港の整備事業は、どのように行うのか。**

港湾課長　4年度は、港内の静穏確保に向け、既設防波堤の改良を行う予定です。

要望　**銚子市沖の洋上風力発電事業の2028年9月の運転開始に受けて、メンテナンスの拠点となる名洗港の整備は必須となる。**

港湾計画の改訂に引き続き、必要な予算を確保した上で、地元市と連携し、防波堤などの港湾施設の整備をしっかり取り組むよう要望する。

●県政や銚子市・東庄町のご相談、ご意見をお寄せください

宮川ふとし　県議会事務所
〒288-0041 銚子市中央町18-11
TEL(0479)26-3915　FAX(0479)26-3916

進むバイパス整備

銚子・小見川東庄　令和5年度までに開通

再質問する宮川議員

●銚子バイパスの状況

宮川議員　国道356号は、銚子港で水揚げされた鮮魚などを、首都圏他へ供給する物流機能を有するとともに、地域の経済活動や観光産業等を支えている。

しかし、慢性的な渋滞が発生するなど課題があり、県では、銚子市と東庄町の2箇所で、バイパス事業を進めている。

銚子バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長　銚子バイパスは、銚子市大橋町から小船木町までの8.2kmのバイパスで、これまでに小船木町側の3.3kmを供用しています。

現在整備中の長塚町から芦崎町までの3kmについては、高田川をわたる橋梁工事や道路改良工事などを実施しており、事業の進捗率は事業費ベースで87%です。

引き続き、令和5年度までの供用に向け、事業を推進してまいります。

●小見川東庄バイパスの状況

宮川議員　小見川東庄バイパスはどうか。

道路整備課長　小見川東庄バイパスは、東庄町新宿から香取市小見川までの8.7kmのバイパスであり、これまでに香取市側の4.7kmを供用しています。

残る東庄町側の4kmについては、現在、黒部川をわたる橋梁工事や道路改良工事などを実施しており、事業の進捗率は89%となっています。

引き続き、令和5年度までの供用に向け、事業を推進してまいります。

●広域農道の状況

宮川議員　広域農道・東総台地地区は、銚子市長塚町から東庄町小南までの東総台地を縦貫し、農水産物流通の柱として整備が進められ、首都圏へのアクセス向上が期待される。

広域農道・東総台地地区の進捗状況はどうか。

耕地課長　東総台地地区は、計画延長10.6kmのうち、9.2kmで、既に供用を開始しており、現在、橋梁を含む残りの1.4kmについて工事を進めているところです。

令和3年度末に橋梁の上部工が完成する予定で、令和5年度の全線供用に向けて整備を進めてまいります。

●県道下総橘停車場東城線の進捗状況はどうか。

宮川議員　県道・下総橘停車場東城線は、国道356号と交差し、茨城県との交流も担う重要な道路である。

しかし、線形が悪く幅員が狭いことなどから、県ではバイパス事業を進めている。

県道下総橘停車場東城線の進捗状況はどうか。

道路整備課長　県道下総橘停車場東城線では、東庄町新宿から宮本までの2.6kmのバイパスを整備し、これまでに谷津から宮本までの1.6kmを供用しています。

残る1km区間については、現在、用地取得率が99%となっており、令和5年度の供用を目指し、橋梁工事や道路改良工事などを実施しているところです。

要望　**国道356号バイパス2路線、広域農道東総台地区、県道下総橘東城線については、どれも令和5年度が供用目標となっているので、遅れることなく確実に整備されるよう要望する。**

●猿田地先の道路改良工事

宮川議員　県道銚子旭線は幅員が狭いことなどから、車両の通行に支障をきたし、早期の事業化が必要だ。

県道銚子旭線、銚子市猿田地先の道路改良事業の取組状況はどうか。

道路整備課長　事業再開にあたり、地元の意向を確認したところ、事業への協力が示されたことから、現在、道路予備設計や測量などを実施しているところです。

要望　**県道銚子旭線は、大型車の交通量が増えた。幅員が狭い現状から、大きな事故が起こる前に、猿田地先の道路改良工事について、一日も早く着手されるよう要望する。**

Go Go 房総 デジタル ポイントラリー キャンペーン

デジタルで気楽に

●デジタルにする理由

宮川議員　新年度当初予算で、スマートフォンを使い「GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業」を実施するとしている。

ポイントラリーを紙ではなく、デジタルとする理由は。

観光誘致促進課長　本事業は、スマートフォン等で特設ウェブサイトにアクセスし、画面上の地図に示されたスポットを巡って、楽しんでいただくものです。

デジタルで実施するメリットとしては、画面上で道順を確認できることで、初めての場所でもスムーズに着けること、訪れたスポットをウェブ上に記録することで、スタンプ帳を携帯せず周遊できることなどがあります。

●スポット選定の方法

宮川議員　デジタルのメリットを活かして千葉県の魅力を再発見してもらうためには、どれだけ多種多様なスポットを選定できるかが重要だと思うが、どう進めるのか。

観光誘致促進課長　GPS機能を活用してスポットを設定できるデジタルのメリットを活かし、海岸などスタンプ台を設置できない場所や、観光案内板が設置されていない隠れた名所など、多種多様なスポットを設定し、千葉県の魅力を案内してまいります。

要望　**本県には、まだ一般に知られていない様々な魅力のある観光スポットもあり、県内観光需要の回復に取り組むためにも、地域の観光コンテンツの情報発信に力強く取り組むことを要望する。**

北総へ 移住・定住

積極策で促進図れ

●新年度の移住定住事業

宮川議員　香取・東総ゾーンは高齢者の割合が県全体より比較的高く、将来的にも人口減少と高齢化が見込まれている。このゾーンの活力を向上させるには、地域の魅力を発信し、移住・定住を促進することが重要だと考えるが、**来年度当初予算における移住・定住促進事業はどのようなものか。**

総合企画部長　当該事業は、移住・定住の機運が高まる中、移住先として本県を選んでいただけるよう、令和4年10月及び11月を「ちば移住推進月間」と位置づけ、この期間を中心に、都内の在勤在住者をターゲットに、様々なライフスタイルに対応できる本県の魅力を積極的に発信するとともに、移住相談体制の充実を図ろうとするものです。

●情報発信の手段

宮川議員　**多くの移住者を呼び込むためには、様々な情報発信が必要だと思うが、何を予定しているのか。**

政策企画課長　情報発信の手段につきましては、これまで県ホームページ等により各地域の特色や住まいなどの情報を発信してきたところであり、来年度から新たに、移住者の経験談などを紹介する動画による広報や、インフルエンサーが実際に一地域居住を体験し、その様子や感想をSNSにおいて随時発信することなどを予定しています。

要望　**移住を決断する上で重要となる雇用や住環境などの情報についても、地域の特色と併せて積極的に発信していただきたい。**

●移住相談体制の方法

宮川議員　**移住相談体制を充実させるとのことだが、どんな事を予定しているのか。**

政策企画課長　これまで市町村と連携した移住相談会を定期的に実施してきましたが、来年度は更に、都内での相談機能充実を図るため、ふるさと回帰支援センターに本県専属の相談員を設置し、移住検討者に、きめ細やかな相談対応を行うことで、本県への移住者の増加を図りたいと考えています。

要望　**専属相談員の設置により、きめ細かな対応が可能になるということで、大変期待している。移住を検討している方のニーズを踏まえた候補地を的確に紹介することで、市町村とのマッチングの成功率を高めていただくことを要望する。**